

6. 利用者とのよりよい援助関係をつくるためには、費用(支援費等の額)の増加が、有効であると思う。

障害の種類	回 答					度 数	平 均 値
	(1) 思う	(2) どちらかといえば思う	(3) どちらかといえば思う	(4) 思う	(5) 思う		
身体障害	29 30.2%	31 32.3%	22 22.9%	8 8.3%	6 6.3%	96 100.0%	3.72
知的障害	46 36.5%	25 19.8%	40 31.7%	10 7.9%	5 4.0%	126 100.0%	3.77
精神障害	32 35.6%	24 26.7%	25 27.8%	2 2.2%	7 7.8%	90 100.0%	3.80
合 計	107 34.3%	80 25.6%	87 27.9%	20 6.4%	18 5.8%	312 100.0%	3.76

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 62.5%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 14.6%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 56.3%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 11.9%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 62.3%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 10.0%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

7. 利用者とのよりよい援助関係をつくるためには、援助者の数を増やすことが、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5点) そう思う	(4点) どちらかといえば そう思う	(3点) どちらかといえば そう思わない	(2点) そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	37 35.8%	39 41.1%	18 18.9%	2 2.1%	2 2.1%	95 100.0%	4.06
知的障害	41 32.5%	45 35.7%	30 23.8%	6 4.8%	4 3.2%	126 100.0%	3.90
精神障害	37 41.1%	29 32.2%	19 21.1%	4 4.4%	1 1.1%	90 100.0%	4.08
合 計	112 36.0%	113 36.3%	67 21.5%	12 3.9%	7 2.3%	311 100.0%	4.01

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 76.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 4.2%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 68.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 8.0%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 73.3%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.5%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

8. 利用者とのよりよい援助関係をつくるためには、建物の改良や設備機器の充実が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	(1) 思う	(2) どちらかといえば思う	(3) どちらかといえば思う	(4) 思う	(5) 思う		
身体障害	26 27.1%	37 38.5%	25 26.0%	5 5.2%	3 3.1%	96 100.0%	3.81
知的障害	40 31.7%	43 34.1%	32 25.4%	8 6.3%	3 2.4%	126 100.0%	3.87
精神障害	32 35.6%	25 27.8%	23 25.6%	6 6.7%	4 4.4%	90 100.0%	3.83
合 計	98 31.4%	105 33.7%	80 25.6%	19 6.1%	10 3.2%	312 100.0%	3.84

身体障害者施設の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 65.6%、「そう
思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 8.3%であり、「**思う**」という傾向の回答割
合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 65.8%、「そう
思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 8.7%であり、「**思う**」という傾向の回答割
合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 63.4%、「そう
思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 11.1%であり、「**思う**」という傾向の回答割
合のほうが多かった。

9. 利用者とのよりよい援助関係をつくるためには、援助者の専門性(社会福祉の知識・技術・価値観)の向上が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5点) そう思う	(4点) どちらかといえば そう思う	(3点) どちらかといえば そう思わない	(2点) どちらかといえば そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	48 50.0%	42 43.8%	6 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	96 100.0%	4.44
知的障害	69 55.6%	37 29.8%	15 12.1%	2 1.6%	1 0.8%	124 100.0%	4.38
精神障害	52 57.8%	26 28.9%	10 11.1%	0 0.0%	2 2.2%	90 100.0%	4.40
合 計	169 54.5%	105 33.9%	31 10.0%	2 0.6%	3 1.0%	310 100.0%	4.41

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 93.8%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 0.0%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 85.4%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.4%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 86.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.2%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

10. 利用者とのよりよい援助関係をつくるためには、施設における、組織構成や資源配分の改善(利用者編成、職員の役割分担など)が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5点) 「そう思う」	(4点) 「どちらかといえば そう思う」	(3点) 「どちらかといえば そう思わない」	(2点) 「そう思わない」	(1点) 「そう思わない」		
身体障害	34 35.4%	46 47.9%	12 12.5%	2 2.1%	2 2.1%	96 100.0%	4.13
知的障害	48 38.4%	56 44.8%	18 14.4%	1 0.8%	2 1.6%	125 100.0%	4.18
精神障害	38 42.2%	32 35.6%	15 16.7%	4 4.4%	1 1.1%	90 100.0%	4.13
合 計	120 38.6%	134 43.1%	45 14.5%	7 2.3%	5 1.6%	311 100.0%	4.15

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 83.3%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 4.2%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 83.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.4%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 77.8%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.5%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

11. 利用者の余暇活動をより豊かにしていくためには、費用(支援費等の額)の増加が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	(5) 思う	(4) どちらかといえば思う	(3) どちらかといえば思わない	(2) 思わない	(1) 思わない		
身体障害	33 34.4%	42 43.8%	16 16.7%	3 3.1%	2 2.1%	96 100.0%	4.05
知的障害	60 47.6%	41 32.5%	21 16.7%	1 0.8%	3 2.4%	126 100.0%	4.22
精神障害	38 42.2%	29 32.2%	18 20.0%	0 0.0%	5 5.6%	90 100.0%	4.06
合 計	131 42.0%	112 35.9%	55 17.6%	4 1.3%	10 3.2%	312 100.0%	4.11

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 78.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.2%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 80.1%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 3.2%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 74.4%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.6%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

12. 利用者の余暇活動をより豊かにしていくためには、援助者の数を増やすことが、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5点) そう思う	(4点) どちらかといえば そう思う	(3点) どちらかといえば そう思わない	(2点) そう思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	38 39.6%	46 47.9%	12 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	96 100.0%	4.27
知的障害	63 50.0%	45 35.7%	15 11.9%	2 1.6%	1 0.8%	126 100.0%	4.33
精神障害	34 37.8%	35 38.9%	16 17.8%	3 3.3%	2 2.2%	90 100.0%	4.07
合 計	135 43.3%	126 40.4%	43 13.8%	5 1.6%	3 1.0%	312 100.0%	4.22

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 87.5%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 0.0%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 85.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.4%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 76.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.5%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

13. 利用者の余暇活動をより豊かにしていくためには、建物の改良や設備機器の充実が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(3) 思う	(4) どちらかといえば思う	(3) どちらかといえば思う	(2) 思う	(1) 思う		
身体障害	29 29.9%	40 41.2%	21 21.6%	6 6.2%	1 1.0%	97 100.0%	3.93
知的障害	40 32.0%	39 31.2%	37 29.6%	7 5.6%	2 1.6%	125 100.0%	3.86
精神障害	32 35.6%	22 24.4%	23 25.6%	6 6.7%	7 7.8%	90 100.0%	3.73
合 計	101 32.4%	101 32.4%	81 26.0%	19 6.1%	10 3.2%	312 100.0%	3.84

身体障害者施設の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 71.1%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 7.2%であり、「思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 63.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 7.2%であり、「思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「思う」「どちらかといえば思う」の合計が 60.0%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 14.5%であり、「思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

14. 利用者の余暇活動をより豊かにしていくためには、援助者の専門性(社会福祉の知識・技術・価値観)の向上が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	(5点) 「そう思う」	(4点) 「どちらかといえば そう思う」	(3点) 「どちらかといえば そう思わない」	(2点) 「そう思わない」	(1点) 「そう思わない」		
身体障害	39 40.2%	46 47.4%	10 10.3%	0 0.0%	2 2.1%	97 100.0%	4.24
知的障害	58 46.4%	47 37.6%	16 12.8%	2 1.6%	2 1.6%	125 100.0%	4.26
精神障害	39 43.3%	26 28.9%	16 17.8%	5 5.6%	4 4.4%	90 100.0%	4.01
合 計	136 43.6%	119 38.1%	42 13.5%	7 2.2%	8 2.6%	312 100.0%	4.17

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 87.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.1%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 84.0%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 3.2%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 72.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 10.0%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

15. 利用者の余暇活動をより豊かにしていくためには、施設における、組織構成や資源配分の改善(利用者編成、職員の役割分担など)が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平 均 値
	そう思う (5点)	どちらかといえば そう思う (4点)	どちらかといえば そう思わない (3点)	どちらかといえば そう思わない (2点)	そう思わない (1点)		
身体障害	30 30.9%	43 44.3%	19 19.6%	3 3.1%	2 2.1%	97 100.0%	3.99
知的障害	46 36.5%	58 46.0%	17 13.5%	4 3.2%	1 0.8%	126 100.0%	4.14
精神障害	33 36.7%	29 32.2%	20 22.2%	4 4.4%	4 4.4%	90 100.0%	3.92
合 計	109 34.8%	130 41.7%	56 17.9%	11 3.5%	7 2.2%	313 100.0%	4.02

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 75.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.2%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 82.5%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 4.0%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 68.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 8.8%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

16. 利用者の社会参加を促進するためには、費用(支援費等の額)の増加が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(3) 思う (3点)	(4) どちらかといえば思う (4点)	(3) どちらかといえば思う (3点)	(2) どちらかといえば思う (2点)	(1) そう思わない (1点)		
身体障害	32 33.0%	39 40.2%	18 18.6%	7 7.2%	1 1.0%	97 100.0%	3.97
知的障害	56 44.4%	39 31.0%	23 18.3%	4 3.2%	4 3.2%	126 100.0%	4.10
精神障害	42 46.7%	27 30.0%	14 15.6%	4 4.4%	3 3.3%	90 100.0%	4.12
合 計	130 41.5%	105 33.5%	55 17.6%	15 4.8%	8 2.6%	313 100.0%	4.06

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 73.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 8.2%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 75.4%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 6.4%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 76.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 7.7%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

17. 利用者の社会参加を促進するためには、援助者の数を増やすことが、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均得点
	(5) (ア) そう思う	(4) (イ) どちらかといえばそう思う	(3) (ロ) どちらかといえばそう思わない	(2) (ハ) そう思わない	(1) (ニ) そう思わない		
身体障害	38 39.2%	48 49.5%	10 10.3%	1 1.0%	0 0.0%	97 100.0%	4.27
知的障害	62 49.2%	42 33.3%	15 11.9%	5 4.0%	2 1.6%	126 100.0%	4.25
精神障害	47 52.2%	30 33.3%	7 7.8%	4 4.4%	2 2.2%	90 100.0%	4.29
合 計	147 47.0%	120 38.3%	32 10.2%	10 3.2%	4 1.3%	313 100.0%	4.27

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 88.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 1.0%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 82.5%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.6%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 85.5%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 6.6%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

18. 利用者の社会参加を促進するためには、建物の改良や設備機器の充実が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	(5点) 「そう思う」	(4点) 「どちらかといえば思う」	(3点) 「どちらかといえばそう思う」	(2点) 「どちらかといえばそう思わない」	(1点) 「そう思わない」		
身体障害	25 25.8%	35 36.1%	26 26.8%	8 8.2%	3 3.1%	97 100.0%	3.73
知的障害	32 25.4%	42 33.3%	37 29.4%	9 7.1%	6 4.8%	126 100.0%	3.67
精神障害	35 38.9%	18 20.0%	25 27.8%	7 7.8%	5 5.6%	90 100.0%	3.79
合 計	92 29.4%	95 30.3%	88 28.1%	24 7.7%	14 4.5%	313 100.0%	3.73

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 61.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 11.3%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 58.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 11.9%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 58.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 13.4%であり、「そう思う」という傾向の回答割合のほうが多かった。

19. 利用者の社会参加を促進するためには、援助者の専門性(社会福祉の知識・技術・価値観)の向上が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	(5) 点 そう思う	(4) 点 そう思う どちらかといえば	(3) 点 どちらかといえば そう思う	(2) 点 そう思わない どちらかといえば	(1) 点 そう思わない		
身体障害	43 44.3%	41 42.3%	11 11.3%	2 2.1%	0 0.0%	97 100.0%	4.29
知的障害	55 43.7%	52 41.3%	16 12.7%	2 1.6%	1 0.8%	126 100.0%	4.25
精神障害	48 53.3%	30 33.3%	9 10.0%	2 2.2%	1 1.1%	90 100.0%	4.36
合 計	146 46.6%	123 39.3%	36 11.5%	6 1.9%	2 0.6%	313 100.0%	4.30

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 86.6%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.1%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 85.0%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 2.4%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 85.9%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 3.3%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

20. 利用者の社会参加を促進するためには、施設における、組織構成や資源配分の改善(利用者編成、職員の役割分担など)が、有効であると思う。

障害種別	回 答					度 数	平均値
	そう思う (5点)	どちらかといえば そう思う (4点)	どちらかといえば そう思わない (3点)	どちらかといえば そう思わない (2点)	そう思わない (1点)		
身体障害	31 32.0%	40 41.2%	22 22.7%	4 4.1%	0 0.0%	97 100.0%	4.01
知的障害	53 42.1%	52 41.3%	17 13.5%	4 3.2%	0 0.0%	126 100.0%	4.22
精神障害	41 45.6%	27 30.0%	17 18.9%	4 4.4%	1 1.1%	90 100.0%	4.14
合 計	125 39.9%	119 38.0%	56 17.9%	12 3.8%	1 0.3%	313 100.0%	4.12

身体障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 73.2%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 4.1%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

知的障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 83.4%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 3.2%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

精神障害者施設の施設長の場合、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が 75.6%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計が 5.5%であり、「**そう思う**」という傾向の回答割合のほうが多かった。

第5節 施設で働く専門職の自立概念の認識について

以下の設問ⅠからⅥについて、専門職としてどのように考えているかを尋ねた。

Ⅰ. 身辺自立について

1. 身辺自立とは、日常生活(掃除・洗濯など)において他人に依存しないことである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(5点) 「そう思う」	(4点) 「どちらかといえば そう思う」	(3点) 「どちらかといえば そう思わない」	(2点) 「そう思わない」	(1点) 「そう思わない」		
身体障害	施設長	15 15.6%	12 12.5%	20 20.8%	18 18.8%	31 32.3%	96 100.0%	2.60
	職員	13 12.9%	20 19.8%	22 21.8%	14 13.9%	32 31.7%	101 100.0%	2.68
知的障害	施設長	23 18.3%	33 26.2%	24 19.0%	18 14.3%	28 22.2%	126 100.0%	3.04
	職員	11 8.1%	31 23.0%	22 16.3%	29 21.5%	42 31.1%	135 100.0%	2.56
精神障害	施設長	12 13.2%	23 25.3%	17 18.7%	19 20.9%	20 22.0%	91 100.0%	2.87
	職員	9 8.6%	17 16.2%	20 19.0%	26 24.8%	33 31.4%	105 100.0%	2.46
合 計		83 12.7%	136 20.8%	125 19.1%	124 19.0%	186 28.4%	654 100.0%	2.70

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 28.1%、職員 32.7%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 51.0%、職員 45.5%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 44.4%、職員 31.1%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 36.5%、職員 52.6%であった。施設長は、「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かったが、職員は、「**そう思わない**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 38.5%、職員 24.8%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 42.9%、職員 56.2%であった。ともに「**そう思わない**」という傾向の回答割合が高かった。

2. 身辺自立とは、自分にとって必要かつ適切なサービスを介護人に依頼できるようになることである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均値
		(5点) そう思う	(4点) そう思う	(3点) どちらかといえば 思う	(2点) どちらかといえば 思わない	(1点) そう思わない		
身体障害	施設長	24 25.0%	36 37.5%	18 18.8%	7 7.3%	11 11.5%	96 100.0%	3.57
	職員	24 23.8%	43 42.6%	21 20.8%	9 8.9%	4 4.0%	101 100.0%	3.73
知的障害	施設長	22 17.0%	58 46.0%	27 21.0%	10 8.0%	9 7.0%	126 100.0%	3.59
	職員	23 17.2%	52 38.8%	27 20.1%	17 12.7%	15 11.2%	134 100.0%	3.38
精神障害	施設長	21 23.1%	39 42.9%	17 18.7%	10 11.0%	4 4.4%	91 100.0%	3.69
	職員	18 17.1%	44 41.9%	23 21.9%	13 12.4%	7 6.7%	105 100.0%	3.50
合 計		50 7.7%	66 10.1%	133 20.4%	272 41.7%	132 20.2%	653 100.0%	3.57

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 62.5%、職員 66.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 18.8%、職員 12.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 63.5%、職員 56.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 15.1%、職員 23.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 65.9%、職員 59.0%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 15.4%、職員 19.0%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

3. 身辺自立とは、必要で適切な介助を受けて快適な生活を送ることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		(3点) 「そう思う」	(4点) 「どちらかといえば そう思う」	(5点) 「どちらかといえば そう思わない」	(2点) 「どちらかといえば そう思わない」	(1点) 「そう思わない」		
身体障害	施設長	42 43.3%	32 33.0%	15 15.5%	2 2.1%	6 6.2%	97 100.0%	4.05
	職員	28 27.7%	38 37.6%	15 14.9%	14 13.9%	6 5.9%	101 100.0%	3.67
知的障害	施設長	42 33.3%	49 38.9%	17 13.5%	13 10.3%	5 4.0%	126 100.0%	3.87
	職員	42 31.3%	46 34.3%	22 16.4%	11 8.2%	13 9.7%	134 100.0%	3.69
精神障害	施設長	35 38.5%	27 29.7%	17 18.7%	11 12.1%	1 1.1%	91 100.0%	3.92
	職員	35 33.3%	35 33.3%	22 21.0%	8 7.6%	5 4.8%	105 100.0%	3.83
合 計		224 34.3%	227 34.7%	108 16.5%	59 9.0%	36 5.5%	654 100.0%	3.83

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 76.3%、職員 65.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 8.2%、職員 19.8%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 72.2%、職員 65.7%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 14.3%、職員 17.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 68.1%、職員 66.7%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 13.2%、職員 12.4%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

Ⅱ. 心理的・精神的自立について

1. 心理的・精神的自立とは、自己決定と自己選択が自分自身でおこなえるようになることである。

障害種別	職種	回 答					合計	平均得点
		そう思う (5点)	どちらかといえば そう思う (4点)	どちらかといえば そう思わない (3点)	どちらかといえば そう思わない (2点)	そう思わない (1点)		
身体障害	施設長	38 39.6%	33 34.4%	16 16.7%	1 1.0%	8 8.3%	96 100.0%	3.96
	職員	33 32.7%	42 41.6%	17 16.8%	4 4.0%	5 5.0%	101 100.0%	3.93
知的障害	施設長	39 31.2%	51 40.8%	20 16.0%	8 6.4%	7 5.6%	125 100.0%	3.86
	職員	26 19.4%	64 47.8%	24 17.9%	14 10.4%	6 4.5%	134 100.0%	3.67
精神障害	施設長	27 29.7%	39 42.9%	12 13.2%	9 9.9%	4 4.4%	91 100.0%	3.84
	職員	21 20.0%	50 47.6%	25 23.8%	5 4.8%	4 3.8%	105 100.0%	3.75
合 計		184 28.2%	279 42.8%	114 17.5%	41 6.3%	34 5.2%	652 100.0%	3.83

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 74.0%、職員 74.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 9.4%、職員 8.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 72.0%、職員 67.2%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 12.0%、職員 14.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 72.5%、職員 67.6%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 14.3%、職員 8.6%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

2. 心理的・精神的自立とは、自己決定と自己選択の結果に責任が取れるようになることである。

障害種別	職種	回 答					合 計	平均得点
		そう思う (5点)	どちらかといえば そう思う (4点)	どちらかといえば そう思わない (3点)	そう思わない (2点)	そう思わない (1点)		
身体障害	施設長	23 23.7%	39 40.2%	21 21.6%	5 5.2%	9 9.3%	97 100.0%	3.64
	職員	28 27.7%	37 36.6%	21 20.8%	8 7.9%	7 6.9%	101 100.0%	3.70
知的障害	施設長	21 16.8%	41 32.8%	34 27.2%	16 12.8%	13 10.4%	125 100.0%	3.33
	職員	15 11.2%	47 35.1%	33 24.6%	22 16.4%	17 12.7%	134 100.0%	3.16
精神障害	施設長	21 23.1%	38 41.8%	19 20.9%	10 11.0%	3 3.3%	91 100.0%	3.70
	職員	15 14.3%	44 41.9%	28 26.7%	12 11.4%	6 5.7%	105 100.0%	3.48
合 計		123 18.8%	246 37.7%	156 23.9%	73 11.2%	55 8.4%	653 100.0%	3.47

身体障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 63.9%、職員 64.4%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 14.4%、職員 14.9%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

知的障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 49.6%、職員 46.3%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 23.2%、職員 29.1%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。

精神障害者施設では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は、施設長 64.8%、職員 56.2%であった。一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の割合は、施設長 14.3%、職員 17.1%であった。ともに「**そう思う**」という傾向の回答割合が高かった。